

押小だより

てんしんらんまん

天真爛漫



令和6年5月2日
さくら市立押上小学校
令和6年度 第2号
文責：仁平 博幸

保護者や地域とともにある押上小学校

ゴールデンウィーク前半が終わり、明日から後半の4連休が始まります。いかがお過ごしでしょうか。さて、先月4月は、19日に授業参観を実施し、その後、**PTA総会**と**学年PTA**が行われました。(右写真は授業参観(1年教室)の様子)

総会では、多くの保護者の方にご参加いただき、昨年度と今年度のPTA活動に関する議事が話し合われ、全て承認をいただきました。昨年度の役員のみなさまには大変お世話になりました。特に、前PTA会長の岩崎様には5年という長きにわたり会長職を務めていただいたこと、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また、今年度の役員のみなさま大変お世話になります。よろしく願いいたします。

26日には、**PTA各種委員会**と**理事会**が行われました。新役員のみなさまによる顔合わせと今年度の計画が話し合われました。アフターコロナとなり、できることも増えてきている中で、何ができるか考えながら協議いただいたことに感謝いたします。

15日の夕方には、「**押小っ子ふれあいスクール**」事前打ち合わせが行われました。

「ふれあいスクール」とは、国が進める「放課後子ども教室」で、子どもたちが放課後を安心・安全に過ごすとともに、いろいろな体験活動を行うことを目的に、月1~2回程度実施しているものです。打合せには市生涯学習課の職員の方と、地域在住のサポーターのみなさまが集まり、今年度の計画について話し合われました。(右写真は昨年度のふれあいスクールの様子)



また、30日には、「**まつのみ安全パトロール会議**」を行いました(左写真)。「**まつのみ安全パトロール隊**」は、12年目を迎える、地域のみなさまによる子どもたちの安心・安全を守る防犯組織で、本校の「学校応援団」とも言える組織です。子どもたちの登下校の付き添いや見守りなど、「できるときに」「できること」を「継続して」行っていただいています。本当にありがたく思っています。感謝申し上げます。

昨年1年間本校に勤務し、さらにこのような会議に出席する中で、あらためて、本校は、保護者のみなさんに、また地域の方々に支えられていることを実感しています。これからの学校は「**地域とともにある学校**」として、「**学校と地域がパートナー**として連携・協働しながら学びを展開していく学校」であることが求められています。本校では、保護者のみなさんはじめ、地域のみなさまのさまざまな知恵や力をいただきながら、子どもたちが安心して学んだり遊んだりできる環境にあると思っています。子どもたちも教師も安心できることは、教師が子どもたちの力を伸ばし、子どもたちが自分の力を発揮できる学校、まさに、私が目指している「**誰もが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校**」につながるものと思っています。

なお、今年度のPTA活動テーマは「**あいさつ、気付き、思いやり、博愛の心で 幸せのある学校**」で、ここにも「**幸せ**」を入れていただいていることに感謝申し上げます。

保護者のみなさま、地域のみなさま、子どもたちのために、今後もお知恵やお力をお貸しいただき、さらに「**保護者や地域とともにある押上小学校**」となりますよう、そして「**幸せを感じる押上小学校**」となりますよう、よろしく願いいたします。

(仁平博幸)

押上小がこんな学校に…
「**誰もが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校**」
(学校だより「天真爛漫」第1号から)

押上小学校が目指すゴール



年度始めにあたり、本校の教育目標と経営理念について、お伝えいたします。

1 本校の「学校教育目標」

「目標」というと堅苦しい感じがしますが、学校には必ず「学校教育目標」、言い換えると学校の目指す「最終ゴール」があります。本校の学校教育目標は次のとおりです。

豊かな心と主体的に学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童を育てる

子どもたちは、今後、変化が速く激しい社会で生きていく、そして新たな社会を創っていくこととなります。教師は、子どもたちが社会に出るこの先おおよそ10年後を考えて、そこに生きる（生き抜ける）子どもたちの力を育てなくてはならないと思っています。

現代社会には、大人も分からない、解が曖昧な問題・課題があふれています。子どもたちには、主体的に物事に関わる（学ぶことも含め）、周りと関われる豊かな心をもつ、そして分からないことや想像もしなかったことに出会ったときにも、たくましく生きていける力を育む必要があると思っています。

2 学校経営の理念

校長が考える、学校経営の考え方です。

「教師の輝きが子どもを輝かせる」を教育の基調とし、教師と子どもとの人間的なふれあいと、学校・家庭・地域の協働により、一人一人の子ども資質・能力の伸長を目指す。

学校の主役はもちろん子どもたちです。子どもたちは誰もが何かきらりと輝く（光る）ものを持っています。でも、その「光るもの」は見えにくいかもしれません。その子の奥深くにあるものかもしれません。我々教師は、その「光るもの」を見出し・引き出して、その子が「きらり」と光る場面を作って、見守り、時には励まし、承認し、その子の「光るもの」を感じさせ、発揮させる必要があると思っています。

そんな「輝く子どもたち」にしていくためには、教師が情熱と使命感、子どもたちへの思いや願いをもつ必要があると考えます。そういったことを考えると、実は、教師も学校の主役であると思います。教師自身が「きらり」と輝くものを本校の子どもたちの成長のために出し合っていることが子どもたちを輝かせます。校長としても、先生方がそれぞれの持ち味を生かしてほしいと思っています。

そして、子どもたちの成長のためには、学校だけでは力が足りません。保護者や地域のみなさんとともに子どもたちを育てていく必要があります。保護者と地域のみなさんにはぜひ「学校のよきパートナー」として、今後も一緒に子どもたちに関わっていただきたいと思っています。

1と2をふまえ、本校が「誰もが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校」となるよう努めてまいります。ちょっと堅苦しい話だったかもしれませんが、年度始めですのでご容赦ください。保護者と地域の皆様、本校の教育活動にどうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



◎ 4月の学校の様子をご紹介します。

4月19日（水）○身体計測
4月25日（木）○歯科検診

4月22日（月）～26日（金） 4月30日（火）
○避難訓練（学年ごとに経路確認） ○交通安全教室



4月24日（水） ○1年生を迎える会
（6年生が中心となって、みんなで迎える温かい会となりました。）



※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

押上小学校

で検索。

